

# 林業福島

No. **643**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

**3**

**2018**

監 修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 炭 焼 き 職 人



# 第69回全国植樹祭開催に向けて

南相馬市長  
門馬和夫

「育てよう 希望の森を いのちの森を」をメインテーマとする「第六九回全国植樹祭」の開催まで、早いもので残り一〇〇日程となりました。

会場となる本市雫地区の海岸防災林周辺では、今も会場整備をはじめとする工事が急ピッチで進められており、天皇皇后両陛下をはじめ全国各地からおいでになる招待者の皆さまをお迎えする環境が整いつつあります。

今回の植樹祭は、東日本大震災の被災地では初めての開催となります。会場となる海岸防災林は、津波で大きな被害を受けておりますが、震災前は、海岸線を青々とした松林が防風・防潮・防砂林として、内陸の家々や田畑を守り人々の生活を支えていました。

あの津波により、その姿は一変し、見渡す限り泥やガレキで埋め尽くされ、以前の穏やかな生活の風景を、そこから想像することも困難な有様でした。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故により飛散した放射性物質の影響を恐れ、山で仕事をする人の姿が消え、適正な管理がされない山林が増えています。

そのような中でも、本市はいち早く森林の再生を目指し、平成二五年十月に復興市民植樹祭を開催しました。昨年での取組は五回を数え、多くの関係者のご協力により、市内外から延べ約一万二、〇〇〇人の方が参加し、約十二万本の苗木を植樹してきました。

また、福島県が実施しております、延長約一キロにも及ぶ海岸防災林の造成も、防潮堤の復旧と併せて順調に工事が進んでおります。

さらに、沿岸部では再生エネルギーの生産基地として多くの太陽光パネルや風力発電の風車を見ることができ、本市のみならず福島県の将来を担うロボット産業の中核的な役割が期待されるロボットテストフィールドについても、浪江町と協力して整備を進めております。

震災以降、本市は全国から多くのご支援、励ましの言葉が寄せられました。全国植樹祭では、我々の感謝の気持ちを伝え、子ども世代やその先の世代を見据えた「一〇〇年のまちづくり」を目指し、復興に取り組む南相馬市の姿をご覧いただくことができますよう、残りわずかではありますが県をはじめ、皆様と協力して準備を進めてまいります。

## 《も く じ》

### とびら

第69回全国植樹祭開催に向けて 南相馬市長 門馬和夫……………	1
第69回全国植樹祭大会100日前記念イベント、 第47回全国林業後継者大会プレイベントを開催しました！…	2
平成29年度林業普及指導員全体研修会を開催しました…	3
平成29年度林業研究グループ等活動発表会を開催しました…	4
福島県林研グループ連絡協議会第17回通常総会の開催…	4
森林・林業担い手育成セミナーを開催…	5

WOODコレクション(モクコレ)2018に出展…	6
緑の募金のご協力よろしくお願いたします…	7
普及指導員通信……………	8
森連だより……………	9
きのこセンターだより……………	10
「自然に親しむ」……………	11
木材市況・ふくしま東西南北……………	12
はなしのひろば・お知らせコーナー……………	13



# 第69回 全国植樹祭 2018 福島

育てよう 希望の森をいのちの森を

第六九回全国植樹祭の大会一〇〇日前を記念したイベントと、全国植樹祭の前日に開催される第四七回全国林業後継者大会のプレイベントを、二月二四日(土)に、福島県男女共生センターで開催しました。

イベントでは、約四〇〇名の皆様にお越しいただき、コイデイナーターとして(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団の弦間一郎氏を、パネリストとして元林野庁長官の沼田正俊氏、(株)アメリカ屋の鈴木優作氏、(有)武田林産の鈴木美也子氏、2017ミス日本みどりの女神の野中葵氏をお招きし、森林づくりについてのパネルディスカッションを行いました。また、矢口史靖監督の映画「WORLD JOB!」を神去なあなあ日常」を上映するなど、本イベントを通じて、森林づくりの大切さや、全国植樹祭の成功に向けた思いを共有することができました。

第六九回全国植樹祭大会一〇〇日前記念イベント、  
第四七回全国林業後継者大会プレイベントを開催しました!  
第六九回全国植樹祭福島県実行委員会事務局  
(福島県農林水産部全国植樹祭推進室内)



パネルディスカッション



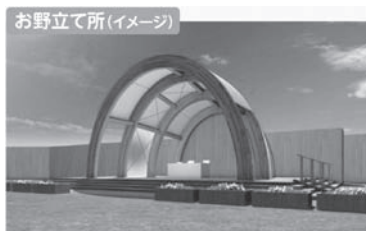
知事挨拶

「第六九回全国植樹祭ふくしま二〇一八」の  
実施計画が策定されました。

大会の具体案を定めた実施計画は、平成三〇年一月二二日(月)に開催された第六九回全国植樹祭福島県実行委員会第六回総会で最終案がとりまとめられ、同年二月二日(金)に衆議院議長公邸で行われた第六九回全国植樹祭特別委員会で決定されました。

実施計画では、大会の開催概要や、式典行事、植樹行事の詳細、会場整備や宿泊・輸送等に関する具体的な方針を定めています。実施計画の詳細については、第六九回全国植樹祭のホームページをご覧ください。

(URL) : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/syokujusai/kakusyukeika.html>



お野立て所(イメージ)

## 式典進行プログラム

区分	プログラム	
プロローグ 13:35~14:20	福島県の紹介映像・プロローグアトラクション	
	感謝状贈呈 東日本大震災復興支援への感謝 植樹リレーゴールセレモニー	
	記念切手の贈呈	
記念式典 14:20~15:10	天皇皇后両陛下 御到着 黙とう 開会のことば 三旗掲揚・国歌斉唱 主催者挨拶 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下の お手植え・お手播き 代表者記念植樹 メインアトラクション 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下 御退席	
	サテライト会場との二元中継	
	緑の少年団メッセージ	
	エピローグアトラクション グラウンドフィナーレ	
	エピローグ 15:10~15:40	

平成二九年度

# 林業普及指導員全体研修会を開催しました

福島県林業振興課



活動発表



竹島氏の講演



表彰

平成二九年度林業普及指導員全体研修会を二月一日(木)、県林業研究センター研修本館で開催し、林業普及指導員をはじめ林業関係者等約一〇〇名が参加しました。

この研修会は、県内の各普及地区の代表者七名が、日ごろの普及活動の取組についての活動発表を行うものであり、今年は、地域材の利活用推進に向けた取組、特用林産物の再

生産や安定供給を目指した取組、松林の保護に向けた取組、森林整備の加速化に向けた人材育成の取組など、日ごろの普及活動成果が報告され、それぞれの発表に対し活発な質疑応答が交わされました。

午後からは、中部大学中部高等学術研究所国際GISセンター准教授の竹島喜芳氏より「森林調査を取巻く諸状況」最近のICT/IOT動

向とその使いどころ」と題して、ICT/IOT等技術の林業への活用方法や、適切な森林情報の収集等について御講演をいただきました。

その後、活動発表に対する講評があり、審査の結果、最優秀賞には富樫誠さん(会津農林事務所)、優秀賞には菅野陽美さん(いわき農林事務所)が選ばれました。最優秀賞の富樫さんは、宮城県で開催される平成三〇年度林業普及指導員東北・北海道ブロックシンポジウムに福島県代表として参加される予定です。各林業普及指導地区からの活動発表課題名は、次のとおりです。

県産材活用における「ふくしま森林再生事業」と各種事業の連携の取組

(県北農林事務所 白田康之)

田村市都路町における林産物の多角的な販路創出に向けた取組

(県中農林事務所 福地雅弘)

白河市南湖公園における松くい虫防除の取組

(県南農林事務所 武藤 司)

漆掻き職人の育成と漆団地の造成

(会津農林事務所 富樫 誠)

広葉樹林の再生に向けた取組

(南会津農林事務所 山河 周)

相馬地方における森林整備の加速化に向けた普及指導

(相双農林事務所 櫻井哲史)

いわき管内における安全安心な特用林産物の生産振興

(いわき農林事務所 菅野陽美)

# 平成二九年度 林業研究グループ等活動発表会を 開催しました

福島県林業振興課

平成二九年度林業研究グループ等活動発表会を平成三〇年一月三十一日（水）、県林業研究センター研修本館で開催し、県内各地の林業研究グループをはじめ林業関係者等約一〇〇名が参加しました。

この発表会では、自主的な実践活動を行っているグループの活動内容を各地区の代表が発表することにより、各林業研究グループの活動の展開に資することを目的に毎年開催しており、今回は6団体から、森林環境学習・体験活動や里山等の整備・地域づくり、特用林産物を利用した



活動発表会

製品開発など、様々な活動について発表がありました。

午後には、しらたか木の駅実行委員会実行委員長の小林真氏（山形県白鷹町）より、「燃料材の売り先、広がつていきます。山を手入れして材を売ろう！」と題して、所有境界の明確化や森林の現況調査、材の売り先や森林所有者との調整など、地域の活性化に向けた様々な活動について御講演をいただきました。

その後、県林業振興課鈴木課長より活動発表に対する講評、審査結果の発表があり、最後に表彰を行いました。



小林氏の講演

審査結果及び発表課題は、次のとおりです。

## 福島県知事賞

やまもりで晩酌を！  
〔参加〕でつくる持続可能なみんなの里山、やまもり会@霊山（県北地区）

## 公益社団法人

福島県森林・林業・緑化協会長賞

勿来地区の竹林整備の取組みについて  
勿来地区竹林整備推進協議会  
（いわき地区）

## 福島県林研グループ連絡協議会長賞

未来を育むプロジェクト

特定非営利活動法人小野自然倶楽部  
（県中地区）

身近な里山「ぼんた山」の利活用について  
NPO法人あぶくまエヌエスネット  
（県南地区）

県産特用林産物（会津桐・会津漆等）を利用してブランド化を目指した盃の製品開発  
会津酒盃の会（会津地区）

山を守るとは？「森の活動やってみて交流会」より  
NPO法人福島県もりの案内人の会  
南会津支部（南会津地区）

なお、福島県知事賞に選ばれた「やまもり会@霊山」は、北海道で開催される平成三〇年度東北・北海道ブロック林業グループ活動発表会に福島県代表として参加される予定です。

## 福島県林研グループ連絡協議会 第十七回通常総会の開催

同日、県林研グループ連絡協議会の通常総会を開催し、平成三〇年度事業計画、役員の変更等を協議しました。

事業計画、新たな役員等は次のとおりで、役員等の任期は平成三〇年四月一日から二年間となります。引き続きご指導、ご支援方よろしくお願いたします。

### 【事業計画】

- 1 第四七回全国林業後継者大会の推進
- ※大会会場にブースを設置し活動を紹介
- 2 第六九回全国植樹祭への参加
- 3 東北・全国規模で開催される各種研修会等への参加
- 4 県内で開催される研修会等への参加・支援
- 5 多様な担い手育成事業の実施
- 6 第四三回福島県林業祭への参加
- 7 グループ活動等に関する情報の提供

### 【役員】

- 会 長 豊田 新一（田人林業研究会）  
副会長 早矢仕恵子  
（ふたばグリーンレディスネットワーク2000）  
副会長 渡辺甲子雄（白鷹町天しほ研究会）  
監 事 松崎 勝美（田村森林研究会）  
監 事 小椋 敏光（館岩地区林業振興協議会）

### 【顧問】

- 渡邊 一夫（NPO法人ふるさと森林の会）  
蛭田 一（田人林業研究会）



# 【第四七回全国林業後継者大会開催記念】 森林・林業担い手育成セミナーを開催

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会



水戸専務理事の挨拶

平成三〇年一月二三日(火)、郡山市の「福島県農業総合センター」において、第四七回全国林業後継者大会が本年六月九日(土)いわき市で開催されることを記念し、ICT(情報通信技術)の活用により、林業担い手の確保・育成や林業の成長産業化を推進するため、「森林・林業担い手育成セミナー(以下「本セミナー」という。))を一般社団法人全国林業改良普及協会(以下「全林協」という。))と共催で開催しました。当日は前日からの積雪に関わらず約四〇名の方が参加し、熱心に耳を傾けていました。

まず、当協会 水戸典明専務理事から主催者挨拶、全林協 本永剛士編集制作部長から共催者挨拶の後、講義に入りました。

最初に、林野庁研究指導課専門官 寺田英司様から「森林における放射性物質対策について」の講義がありました。寺田様は、森林内の放射性物質対策として、間伐等の実施は下層植生の繁茂による表土流失防止や放射性セシウムの拡散抑制が期待できること、森林内作業では林業機械による遮へい(外部被曝低減)効果があること、福島県の森林・林業の再生に向けた取組として「里山再生モデル事業」を実施していることなどを説明されました。

次に、林業現場におけるICTの

利活用に関するスペシャリストとして活躍している長野県北信州森林組合業務課長 堀澤正彦様から「地域集約化とICT利用による効率化について」の講義がありました。堀澤様は、ICTは魔法の器ではなく、人、物を含めた情報資源をもとに業務の効率化を図る道具であると注意を喚起した上で、北信州森林組合で実施しているICTの活用事例として、出材情報の自動集計管理や、航空レーザ計測(ALS)データの活用による森林資源量の把握や作業道の簡易設計など画像を用いて説明されたほか、各種LS情報の活用にも触れました。

最後に、福島県林業振興課主査 蓮沼正将様から「第四七回全国林業後継者大会の開催について」の説明がありました。蓮沼様は、実施計画書を説明するとともに、一般参加者(二〇〇名)の応募を呼びかけました。

参加者からのアンケートでは、「ICT活用の具体例を知ることができた。」「森林施業の集約化は必須のため勉強になった。」など、多くの方に本セミナーを高く評価していただきました。

参加者の今後のご活躍を期待しております。



蓮沼主査による講義



堀澤課長による講義



寺田専門官による講義

# WOODコレクション 2018に出展

福島県木材協同組合連合会

平成三〇年一月三〇日・三十一日、東京ビッグサイトにおいて、東京都主催の「WOODコレクション(モクコレ)2018」が開催されました。

これは、東京都と各地域が連携し、木材の消費地である東京でのさらなる利用拡大に向け、日本各地の地域材を活用した建材や家具などの製品を展示するもので、昨年・一昨年に続き開催されたものです。東京都では、本イベントを、今年秋に都が開催する「全国育樹祭」の記念行事としており、オープニングセレモニーには小池都知事も出席し、挨拶をされた後、福島県ブースなどを視察さ



オープニングセレモニー「ウッドカット」(東京都小池知事(左)、林野庁牧元次長(右))

## 福島県ブース配置図

【木工品ゾーン】			【住宅部材ゾーン】		
会津桐タンス	<b>県木連</b> (ブース展示) <small>DC2 マストロ 磐城高箸 正木屋材本店</small>	<b>県木連</b> (躯体展示) (江戸川ウッドテック)	芳賀沼製作	藤寿産業	ダイテック
光大産業	アサヒ研創		協和木材	藤田建設工業	

れました。福島県ブースでは、本県製材品の半数以上を首都圏に出荷している現状を説明すると、都知事は、今年秋に東京都で全国育樹祭が開催されることを引き合いに、全国植樹祭が春に開催される福島県との繋がりを強調されました。

今回は過去最多となる三三都道府県から三二四企業・団体が出展し、二日間で約四、〇〇〇人の来場がありました。

県内出展者は、県木連ほか八企業で、各社がいま最もPRしたい部材・工法等の展示を行いました(上図参照)。県木連では、福島県ブースの中央に木造の躯体展示を行い、内部には田村森林組合の構造部材や江戸川ウッドテック(株)のフローリング等の展示PRを行いました。さらに、県木連の共同ブースを設け、もこのこ(正木屋材本店)の神棚、DC2の木製品、マストロ・ジエツペットの木製玩具、磐城高箸の割り箸等の展示を行いました。

東京都によると、来年度もこのモクコレを開催することとしているそうです。



県木連 (木造躯体とフローリング部材の展示)



芳賀沼製作



藤田建設工業



県木連 (木製玩具等の展示)

平成30年度の緑の募金目標額 7,000万円

# 緑の募金のご協力よろしくお願いたします



## 緑の募金の実績

平成29年度は、下表のとおり目標額の9割を超える約6,322万円（4月～12月分集計）と前年度を上回るご寄附をいただきました。多くの県民の皆さまに厚く御礼申し上げます。

皆さんからご協力いただきました「緑の募金」は、緑の少年団の活動支援や県内の学校、公共施設等に緑化苗木を配布する環境整備、地方植樹祭・育樹祭、第15回うつくしま育樹祭の開催、学校緑化活動への支援などに活用させていただきました。

平成30年度の「緑の募金」春季募金期間は、例年どおり新年度がはじまる4月1日から5月31日までとなっておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年の緑化運動標語  
**「続けよう 植えて育てて 緑の輪」**

〒960-8043  
 福島市中町5-18 福島県林業会館内  
 (公社)福島県森林・林業・緑化協会  
 (緑化推進局 緑化推進課)  
 TEL 024-524-1480 FAX 024-521-3246

## 平成29年度 緑の募金実績 (平成29年4月～12月)

単位：円

市・地方緑化推進委員会	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	募金の種類				
				街頭募金	家庭募金	企業募金	職場募金	学校募金
福島市緑化推進委員会	9,300,000	4,171,471	44.9	134,501	0	1,848,221	793,096	1,395,653
伊達市緑化推進委員会	2,300,000	2,354,913	102.4	2,184	1,822,382	201,100	254,672	74,575
伊達郡緑化推進委員会	1,400,000	1,572,707	112.3	66,062	1,072,500	224,000	161,159	48,986
二本松市緑化推進委員会	2,100,000	2,311,333	110.1	10,459	1,226,344	539,283	230,400	304,847
本宮地域緑化推進委員会	1,300,000	1,705,638	131.2	0	1,027,800	466,900	100,745	110,193
国土緑化郡山市推進委員会	11,100,000	11,363,731	102.4	2,786	7,390,780	1,037,431	820,535	2,112,199
須賀川市緑化推進委員会	2,600,000	1,463,998	56.3	24,990	1	712,387	352,474	374,146
国土緑化岩瀬地方推進委員会	600,000	588,948	98.2	0	466,400	4,917	76,465	41,166
田村地方緑化推進委員会	2,600,000	2,872,179	110.5	29,558	1,935,250	370,105	490,049	47,217
国土緑化石川地方推進委員会	1,800,000	1,916,565	106.5	164	1,083,050	294,000	236,010	303,341
白河市緑化推進委員会	2,200,000	1,973,595	89.7	7,046	1,135,154	564,895	266,500	0
国土緑化西白河地方推進委員会	1,600,000	2,023,258	126.5	16,200	1,340,655	418,100	190,679	57,624
国土緑化東白川地方推進委員会	1,500,000	1,349,529	90.0	14,248	906,800	195,077	200,182	33,222
国土緑化会津若松市推進委員会	4,500,000	5,464,094	121.4	39,241	3,656,550	649,000	674,880	444,423
両沼地方緑化推進委員会	2,000,000	1,747,622	87.4	2,330	1,432,960	121,913	190,419	0
会津耶麻地方緑化推進委員会	1,200,000	1,358,970	113.2	301	959,600	104,361	141,596	153,112
喜多方市緑化推進委員会	2,000,000	2,481,994	124.1	42,723	1,560,966	387,000	471,605	19,700
南会津地方緑化推進委員会	1,400,000	1,643,058	117.4	44,659	1,297,500	55,000	202,267	43,632
相馬地方緑化推進委員会	4,400,000	1,835,307	41.7	175,191	1,069,900	0	553,016	37,200
双葉地方緑化推進委員会	2,600,000	0	0.0	0	0	0	0	0
いわき市緑化推進委員会	11,500,000	11,872,432	103.2	76,481	8,582,729	1,151,351	1,598,962	462,909
小計	70,000,000	62,071,342	88.7	689,124	37,967,321	9,345,041	8,005,711	6,064,145
事務局	-	1,157,472	-	44,641	0	558,092	554,739	0
合計	70,000,000	63,228,814	90.3	733,765	37,967,321	9,903,133	8,560,450	6,064,145

※街頭募金にイベント募金、常設募金等を含む



# 獣害被害防止に向けた里山林整備の 推進について(その2)

福島県会津農林事務所

林業普及指導員 内海 享

## 1 始めに

会津管内においては、ツキノワグマによる広範囲な皮剥ぎの被害があるほか、毎年のように人身被害も発生しており大きな問題となっています。昨年3月発行の「林業福島」№631では、この問題への対処として里山林整備事業を活用して行った普及活動について報告しました。今回は引き続き平成29年度の普及活動について報告します。

今年度の里山林整備事業の実施地区数は、昨年度に行ったPR活動の効果もあり3地区から8地区へ増加しました。8地区のうち7地区が主にツキノワグマ被害対策となっており、当地域におけるツキノワグマ被害対策は切実な問題であることが改めて認識されました。

事業内容等

地区数	事業内容	事業量等
7地区 (1地区)	緩衝帯整備 クマ剥皮防止テープ	12.00ha 400枚
1地区	景観整備	1.00ha

(クマ剥皮防止テープ1地区は緩衝帯整備7地区の内数。)



クマによる皮剥ぎ被害

## 2 取組内容

当事業の事業主体は、ほとんどが今年度に初めて事業を実施する団体であることから、円滑な事業実施を図るため、事業着手前に事業説明会を開催するとともに、現地において効果的な施行方法の確認を行いました。また、農業普及所と連携して野生鳥獣被害対策検討会へ出席したほか、事業主体に対して現地指導を行いました。なお、獣害対策及び森林づくりは継続的な取組が重要であることから、指導にあたっては、一過性の取組とならないよう、地区住民の意識の醸成にも努めました。



獣害対策専門家との現場確認



野生鳥獣被害対策検討会

## 3 結果と課題

事業実施後、「見通しも良くなり実施して良かった。」等の意見をいただいております。複数の地区からは次年度も実施したいと要望がありました。

課題としては、地区ぐるみの継続的な獣害対策の実施です。多くの事業主体で地区住民の高齢化や森林整備技術がないなどの理由で自ら整備等ができず外部へ委託している状況があります。

今後は、農業振興普及部や農業普及所等との連携を強化し事業実施による効果を検証するとともに、地区住民自ら獣害対策ができるような手法や体制・仕組みづくりについて普及指導を行っていきたいと考えています。

森連だより

## GIS講習会を 開催しました



研修風景



当会では福島県の森林整備担い手対策基金の補助を受け、平成三〇年二月十九日にビッグパレットふくしまにおいて、信州大学農学部の高藤仁志氏を講師に迎え「フリーソフトを活用したGISシステムの活用法について」と題し、研修会を開催しましたので、ご紹介します。

はじめに、基本情報として「GIS」について説明します。「GIS」は地理情報システムの略称で、位置情報を持ったデータを管理・加工し、視覚的に表示したり、高度な分析が行えたりするシステムで、その利便性から県内においても一部の森林組合等で導入されています。

しかし、市販されているソフトウェアは、非常に高価であったり、使用したいスタイルにカスタマイズできなかったりなど、導入したものの十分に活用されていない事例が見受けられます。また、購入したくてもその価格が障害となり、導入に踏み切れないと言った話もよく耳にします。

近年のITの発展や各種情報の無償化が進んだことで、独自にGISシステムを構築することが可能となってきましたが、GISを使いこなすには、ある程度のパソコンスキルが必要となるため、今回の研修会開催の運びとなりました。

研修会では、オープンソースとして公開されているGISの中でも、メニュー表示が日本語化され、プラグインによる機能追加の自由度が高い等の理由からQGISを使用し、研修会参加後も引き続きGISシステムが利用できるように、パソコンは参加者各自に持参していただきました。

研修内容としては、基礎となるQGISのインストールから始まり、基本操作の説明後に、実際にレイヤーを作成、サンプル版の森林簿を

活用したデータ解析、インターネットを活用した情報収集方法等の実習を行いました。研修生からは、操作も簡単で大変有効なツールである、今後も使用していきたいと言った意見の他に、内容が十分に理解できなかった、作業についていけないかった等の意見もあり、限られた時間の中で、情報量も多い研修会であったため、今後は段階を踏んだ実習や目的別に整理して行うなどの改善を検討したいと思います。

最後に、近年は情報やソフトの無償化、低価格化が進み、今までは考えられなかった技術が容易に取り入れ易くなってきましたが、大切なことはシステムがあるからと言って万能では無いことを理解し、あくまで道具であるとして、その道具で自分が何をしたいのか、そしてそのために如何に効率的にGISが使えるかと言うことにあります。また、「無料」、「自由」であるが故に著作権等を十分に理解したうえで使用する必要がある。これらを踏まえ、興味はあるけど、どうしたら良いのかわからないや、実際に取り入れてみたい等の要望がございましたら、当会までお気軽にお声がけください。

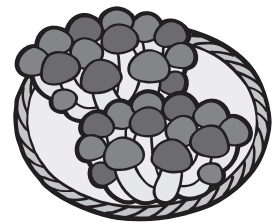


団体のページ



「大消費地でのPR活動を実施」

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会  
きのこ振興センター  
(TEL 024-947-2188)



きのこ振興センター

当きのこ振興センターが事務局となつてゐる福島県きのこ振興協議会は、県の補助事業の「ふくしまの恵みPR支援事業」を活用し、東京・日本橋ふくしま館「ミデッテ」において平成二九年九月二九〜三〇日(金、土)、十一月十八〜十九日(土、日)と十二月十五〜十六日(金、土)の延べ六日間、また、十一月二三日(木)、京都府立植物園で開催された「あすのKyoto・地域創生フェスタ」において、県産きのこの消費・需要拡大を図るためPR活動を実施しました。

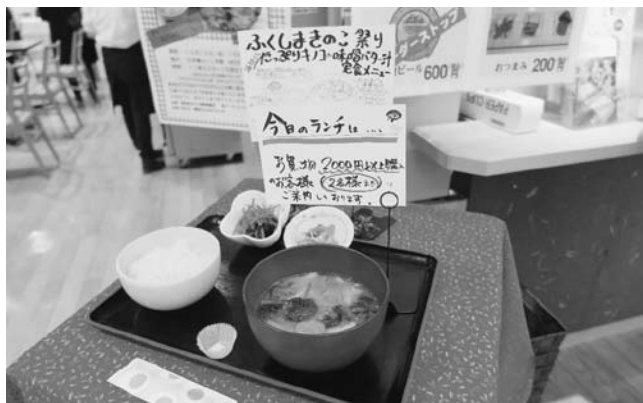
東京・日本橋ふくしま館「ミデッテ」においては、「ふくしまきのこ祭り!」と称し、県産きのこのPR販売と、イベント会場の一角で、「チームふくしま」考案の県産きのこを使用した料理のランチ試食会を実施しました。試食会のメニュー

は、第一回は、きのこたつぷりキーマカレー、第二回は、シヤケと焼きおにぎりのきのこスープ茶漬、第三回は、きのこの味噌バター汁定食で、一日五〇名の方々に試食いただき、いずれも好評を得ることができました。県産きのこPR販売においては、県産きのこの美味しさや安全性をPRするため、特製の加工品「美味しいなめ茸・全部福島産」を製造し、きのこ購入者やアンケート協力者へ配布しました。今回のイベントで販売した県産きのこは、何れも早々に完売となりました。

「あすのKyoto・地域創生フェスタ」は、毎年勤労感謝の日に開催される京都府民の祭で、今回で八回目の開催となり、毎年一万余千人の来場者が訪れるビックイイベントです。当協議会では、県産きのこの展示と配布を行いました。一般には、

目の触れることの少ない発生状態の菌床は、来場者の関心を集め、菌床の作り方からきのこの収穫の方法について説明を求められる場面が多々ありました。なお、興味をもつていただいたお子様には、シヤケ・ナメコ・エリンギいずれかの収穫体験をしてもらい、親御様からは貴重な体験をさせていただいたと感謝の言葉をいただきました。

たくさんの方々にごブースを訪れていただきましたが、PR活動を行っている私たちに對し、とても好意的に接していただけた印象を持ちました。その中には、阪神淡路大震



試食料理 (東京・日本橋ふくしま館「ミデッテ」)

災を経験された方もおられ、「私たちも被災し、当時大変な状況でしたが、頑張つて復興することができました。遠くから福島を応援して下さいます。」との激励の言葉もいただきました。福島県の農産物に対する安全性については、心配や不安は無いと答えた方がほとんどでした。しかし、ごく少数ではありましたが、不安の声も聞かれ、風評払拭のためには福島から遠く離れた場所でのPR活動の必要性を強く感じました。

今後とも、当協議会は県産きのこの産業の早期完全復興に向けて積極的に取り組んでまいります。



きのこ収穫体験 (あすのKyoto・地域創生フェスタ)

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 36 |

# 高田ザクラ

樹木医 鈴木俊行



「高田ザクラ」は、石川郡石川町字高田地内の高台の急斜面に生育している。生育地は国道一一八号から県道十四号いわき石川線（通称御斎所街道）に入り約六〇〇㊦、さらに北須川沿いを北へ約三〇〇㊦の急斜面の場所、県立石川高等学校や中央公民館からすぐの場所にある。生育地の地形は東向きの急斜面で、周辺にはモウソウチクやヤマモミジなどが生育し、斜面下側の根元近くには生活道路が、斜面上側には四阿が建っており、道路と四阿までの散策

路が根元北側を通っている。本樹にまつわる伝説等は伝わっていないが、「石川町史」によると戦国時代末の領主石川大和守昭光（一五八〇年頃）がこの地を領した頃、植えられたもの

といわれる古木で、三春滝ザクラとともに県内の代表的な桜であるとの記載がある。推定樹齢は約七五〇年とも約五〇〇年ともいわれ、昭和三年（一九五六）九月四日に県指定天然記念物に、昭和五八年（一九八三）二月十七日に県緑の文化財に登録されている。

本樹の樹種はエドヒガン (*Prunus pendula form ascendens*) のバラ科ザクラ属の野生種のザクラの一つである。エドヒガンについてはこのコーナーで幾度か記載したが、野生

種の中でも長寿の種で、県内のザクラの巨樹、古木や一本桜の多くはこのエドヒガンである。また、エドヒガンは「種まき桜」や「肥上げ桜」などと呼ばれて各地域で古くから親しまれ、いろいろな伝説を伴っているものが多い。

本樹の形状寸法は、樹高一・五〇㊦、幹周六・五〇㊦、根元周九・七〇㊦の巨木で、急斜面にどっしりと根を張り太いゴツゴツした幹が天に向って伸びる姿は風格があり圧倒される。主幹内部は空洞化が著しく、大きく開いた穴はいたいたしいが、力強い生命力も感じる。枝張りは一五・九・五〇㊦、西三・四〇㊦、南八・五〇㊦、北六・八〇㊦とやや片枝で、樹冠には枯枝が多く樹勢の衰退が窺える状態であるが、保存会の皆様による周辺の草刈りやモウソウチクや被圧木の伐採などによる日照条件の改善、施肥など熱心な保全活動により、毎年四月中旬頃、薄紅色の花を樹冠いっぱいに爛漫と咲かせる。

本樹は、ややいたいたしさを感じた姿となっているが、その生命力と



再生力はおどろくほどで、古木のパウーをいただきますに、花爛漫の季節にでも出かけてみてはいかがだろうか。



さて、「自然に親しむ」福島県の巨樹・名木」は、三年間三三六回（件）続いてきましたが、今回をもって終了することとなりました。「三春滝ザクラ」から「高田ザクラ」まで福島県を代表する巨樹・名木を取り上げてきました。ザクラで始まりザクラで終わるのも何かの縁かも知れません。福島県の巨樹・名木の代表としては、福島県緑の文化財に登録された樹木が六一八本（平成二二年四月現在）あります。この中で枯損や倒木などによって解除されたものもあり、現在生育している緑の文化財は五四七本となっています。県内にはこれだけ多くの巨樹・名木が生育しておりますので、これを機会にどうぞご自分のお気に入りの巨樹・名木を探しに出かけて見てはいかがでしょうか。長い間ありがとうございました。最後に、巨樹・名木を大切に!!



# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(12月15日現在)

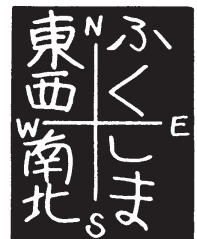
(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		9 (8~9)	0	9 (8~10)	0
		10~14		並	スギ	12 (11~12)	1	(0~0)		12 (11~12)	1	12 (11~12)	1
	中	14~22	3.00	並	スギ	13 (12~14)	0	11 (11~11)	0	13 (12~13)	0	13 (11~14)	0
				並	ヒノキ	20 (15~24)	1	(0~0)		15 (15~15)	0	17 (15~24)	0
		6.00	並	スギ	16 (15~17)	0	11 (10~12)	0	16 (16~16)	0	15 (10~17)	0	
			並	ヒノキ	30 (25~35)	0	(0~0)		21 (18~24)	0	25 (18~35)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	15 (11~21)	4	11 (10~12)	0	12 (12~13)	0	13 (10~21)	2	
					12 (11~13)	1	12 (12~12)	0	12 (12~13)	0	12 (11~13)	0	
		4.00	並	アカマツ	9 (7~11)	0	(0~0)		11 (9~12)	1	10 (7~12)	1	
		1.80	並	アカマツ	8 (5~11)	0	12 (12~12)	0	7 (6~7)	0	8 (5~12)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		28 (28~28)	0	28 (28~28)	0
				並	米マツ	(0~0)		30 (30~30)		30 (29~30)	1	30 (29~30)	1
28以下		3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		28 (27~28)	0	28 (27~28)	0	
			並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)	0	25 (25~25)	0	
パルプ用材			並	マツ	6 (6~6)	0	(0~0)		5 (5~5)	0	6 (5~6)	0	
			並	広葉樹	9 (9~9)	0	(0~0)		6 (6~6)	0	8 (6~9)	0	

十一月の原木市場への入荷状況は、前月比二割増(前年比二割増)の二七、一九九立方メートルとなっている。販売量は、前月比二割増(前年比八割増)の二七、七一六立方メートルとなっている。十二月の価格は保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~8)	0	7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	9 (8~9)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	13 (13~13)	0	10 (9~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。  
2. ( ) 内は各地域の価格幅、( ) 外は各地域の平均価格を示す。  
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。



### 双葉郡の復興

富岡林業指導所 會田 充茂

福島第一原子力発電所の事故によりそのほとんどが避難地域となった双葉郡でしたが、広野町、川内村、楢葉町、葛尾村と解除が進み、昨年春に富岡町、浪江町の避難地域が一部解除され、富岡林業指導所も四月一日から富岡町で業務を再開しました。原子力災害からの復興を目指して、関係者が様々なことに取り組んでいます。その一端を紹介したいと思います。

まず、手入れの遅れた森林整備を行うための「ふくしま森林再生事業」については、既に実施していた、広野町、川内村に加え、今年度より葛尾村、楢葉町が事業に着手し、来年度は、富岡町、浪江町が事業に着手する予定です。間伐等による森林整備により豊かな森林の再整備が期待されています。

きのこの栽培については、川内村、葛尾村でしいたけ栽培が再開され順調に生産量が伸びています。今年度は大熊町でホンシメジの試験栽培が行われ、今後の本格生産に向けての取り組みを行っています。



試験栽培のホンシメジ

山菜等の栽培されているものについては、モニタリングで安全が確認されたものが販売されており、新たに広野町で出荷制限がかかっているフキノトウの解除に向けて取り組みを開始したところです。葛尾村では大規模木造施設の建設が行われており、浪江町でも検討作業が進められています。一年、一年復興が進んでいきますので、ぜひ双葉郡にご訪問いただきその様子を見ていただければと思います。

はなしの  
ひろば  
縁よすが

二月中旬の新聞に、帰還困難区域にある大熊町の小野小で、三月二日から四日までの三日間、元児童たちが校舎から学用品など思い出の品を持ち出せる、という記事が載っていた。当時、大野小四年生だった私の甥の子は「思い出の品物と一緒に、あの時怯えていた自分も一緒に連れて帰ってくるよ」と。今、彼は高校二年生になって、体も心も大きくなった。止まっていた時間がやっと動きだす思いだろうか、それともあの時の自分と今の自分がようやく繋がるという思いだろうか…。私は、彼の話に何の言葉もなく、ただただこの七年という歳月の長さで重さを感じていた。

一方、この七年の間に浪江町と双葉町領域にまたがる両竹・中野地区に予定されている「復興祈念公園」の四つの基本理念が決まった。その中に「縁をつなぐ」とある。ふるりの歴史、文化を継承し、人々が支え合い助け合うための心の拠り所となる、と表現されている。ふるりの遺伝子がどんな形で公園に織り込まれていくのか楽しみである。が、公園は健常者だけではなく、たとえば目の見えない人のために音のする園路や香りのする並木道、せせらぎの音がする流れ、そして車いすの高さでも何かに触れることができる公園のつくり。そんな公園で誰もが誰とでも「縁」を感じ、四季折々途絶えることなく人々が集う。そして復興祈念公園がいつかこの地に根づき、人々の「縁」で熟していくことを心から願わずにはいられない。七年目の3・11である。(都)

表紙の写真



「炭焼き職人」

第14回ふくしま森林・林業写真コンクール入選  
受賞者 近藤広章さん(白河市)  
撮影場所：古殿町三株

編集

発行人

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
ふくしま緑の森づくり公社  
森林研究整備機構福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
陽光社印刷株式会社  
(定価 一〇八円)

お知らせコーナー

○野生山菜等の採取及び出荷・販売について

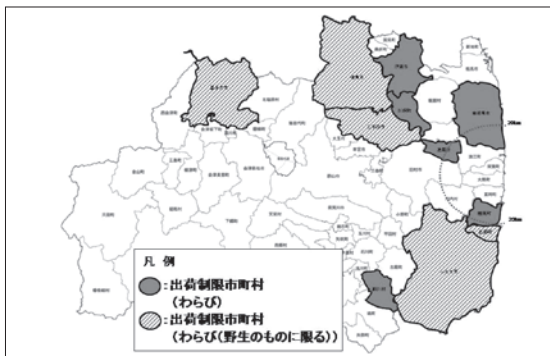
山菜の季節となりましたが、山菜の種類によっては市町村単位で出荷制限の指示が継続されているものがあります。出荷制限区域から採取されたものは出荷・販売はもとより、飲食店、宿泊施設などでの提供、無償譲渡を行わないようご注意ください。

山菜の出荷制限については福島県林業振興課のホームページで最新の情報をご確認ください。「福島県 山菜 出荷制限」で検索。  
([https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo\\_monitoring.html](https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo_monitoring.html))

また、出荷が制限されていない市町村の山菜等を出荷・販売を希望する場合は、出荷前にモニタリング検査を行う必要があるため、県農林事務所までご相談ください。  
安全な野生山菜等の流通を図るため、皆様の御協力をお願いします。

・わらびの出荷制限位置図

・連絡先一覧



事務所名	住所・連絡先
県北農林事務所 (森林林業部)	福島市杉妻町2-16 (福島県庁北庁舎5階) 024-521-2632
県中農林事務所 (森林林業部)	郡山市麓山一丁目1-1 024-935-1367
県南農林事務所 (森林林業部)	棚倉町大字関口字上志宝50-1 0247-33-2123
会津農林事務所 (森林林業部)	喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3 0241-24-5734
南会津農林事務所 (森林林業部)	南会津町田島字根小屋甲4277-1 0241-62-5375
相双農林事務所 (森林林業部)	南相馬市原町区錦町一丁目30 0244-26-4305
富岡林業指導所	富岡町小浜553-2 0240-23-6084
いわき農林事務所 (森林林業部)	いわき市平字梅本15 0246-24-6193



# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



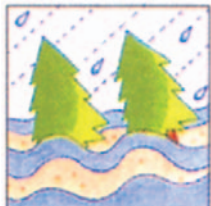
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



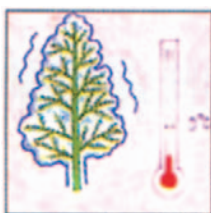
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのタワーヤーダ

## TY-U5C タワーヤーダ

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.

積取型エンドレスタイラー方式に対応した  
5脚式タワーヤーダ  
上げ荷・下げ荷ともに積取り集材が可能



For the future with forest

**イワフジ工業株式会社 北関東支店**

[www.iwafuji.co.jp](http://www.iwafuji.co.jp)

(北関東支店) 福島県郡山市八山田5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢区桜屋敷西5-1  
TEL 0197-23-3111 FAX 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

# 緑地管理の未来をひらく

レインボー薬品株式会社と住化グリーン株式会社は、非農耕地向け事業のリーディングカンパニーを目指すことを目的とし、平成29年10月1日をもちまして合併いたしました。

お客様の信頼を第一に全力を尽くす所存でございます。

引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月吉日

## 松くい虫予防薬剤

ヤシマスミバイン乳剤  
スミバインMC  
マツグリーン液剤2  
グリーンガード・NEO

## くん蒸剤

ヤシマNCS

## くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シート

## ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)  
ハチノックS (携帯用スプレー)



## レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野 1-19-10  
お問い合わせ TEL. 03(6740)7777  
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)



効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

## チッパシュレッダ



最大処理径  
200mm

竹もOK!

**SR3100**

出力 18.4kW (質量1,330kg)

水冷ディーゼル

967634301

¥3,580,000(税抜)

## ハンマナイフモア



**ZHM1550**

出力 27.5kW (質量1600kg)

967081901

¥5,860,000(税抜)



**ZHM800**

出力 7.4kW (質量230kg)

967088901

¥748,000(税抜)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1